

# しこく

夏

2022年6月  
第72号

02 特集

## 産前産後ケアセンター ～安心安全な出産をめざして～

04

病院長のつぶやき  
マスクの中で口角を上げて

05

部門紹介  
いい人み～つけた！  
(整形外科外来、認知症疾患医療センター)

06

お知らせ  
心電図検定一級に3名が合格





## 特集

# 産前産後ケアセンター ～安心安全な出産をめざして～

当院の産婦人科「産前産後ケアセンター」では、安心安全な出産のために継続的なケアを行っています。当センターの診療体制や取り組みについて紹介します。

北2階病棟助産師チーム

2週間健診の様子 (小児科医師:地行健二、助産師:角川理紗)

## 母乳外来

2009年から開始した母乳外来は、2015年の産婦人科病棟リニューアル後に、新しく母乳外来室として病棟に開設されました。とてもリラックスできる環境です。



場所

2階病棟、母乳外来室 または、1階の助産師外来室

日時

月曜日～金曜日 10:00、11:00、13:00、14:00、15:00

費用

初回：3,000円 2回目以降：2,200円

### 乳腺炎の受診が保険適応

2018年診療報酬改定で「乳腺炎重症化予防ケア・指導料」が追加されました。この算定にあたっては、産婦人科医師だけでなく、「アドバンス助産師」の認定を取得かつ、乳腺炎および母乳育児看護の経験が5年以上ある助産師が在籍している場合に、施設基準の届け出が行えます。そのため、当院ではこれに該当し届け出を行い、保険適応となりました。

2018年より当院では、「産前産後ケアセンター」と名前をかかげ、助産師が中心となり、妊娠中からの助産師外来、出産、産後2週間健診、母乳外来、産後助産師外来、産後ケアをおこない、地域に密着した形で、母子を継続的にケアすることに力を入れています。

スタッフには、アドバンス助産師、産後ケア実務助産師研修修了者、新生児蘇生法インストラクター・Aコース・Bコースを取得しているスタッフがおり、安心安全なお産を迎えられるように努力を重ねています。

コロナ禍でもあり、里帰りが出来ない方、実家の応援が難しくなり、公共施設利用の中止なども伴い、身体的回復が遅れ、精神的にも育児不安を抱える母親が増えています。妊娠期から育児を見据えた個別的な関わりが大切と思い、助産師外来の充実を目指して、日々お母さんやご家族と向き合い寄り添っています。

## 産前産後ケアセンター

### 主な事業や取り組み

- ・妊娠中からの助産師外来
- ・母乳外来
- ・出産
- ・産後助産師外来
- ・産後2週間健診
- ・産後ケア

## 産後ケア事業

当院では2017年より四国中央市の産後ケア事業の委託を受けて、産後ケアを行っています。また2021年4月からは、徳島県三好市の産後ケア事業の委託を受けて、産後4か月まで産後ケアを受けられます。また、継続が必要な方は、保健師の面接を行い、産後6か月まで延長が可能となりました。助産師などの看護職が中心となり、お母さんの身体的回復と心理的な安定を促進するとともに、お母さんがセルフケア能力を育み、母子とご家族が、健やかな育児が出来るよう支援することを目的としています。妊娠期から、継続的に関わり、出産施設で産後ケアを受けるからこそ得られる効果があると思っています。



### 産後ケアの対象者

- ・出産後の回復過程にあつて、休養が必要である
- ・育児への不安がある
- ・ご家族などからの十分な家事・育児支援が受けられない

#### デイサービス

10:00～16:00 (1食+おやつ)

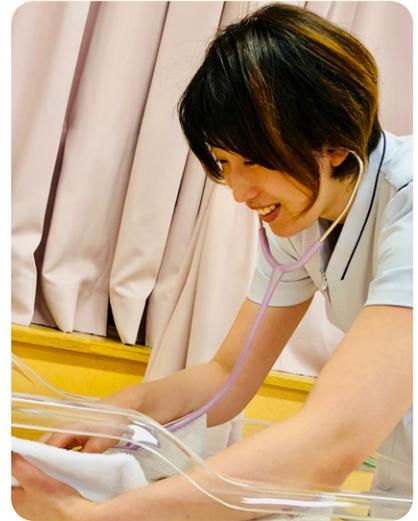
#### ショートステイ

10:00～翌日10:00 (3食+おやつ)

詳しくはホームページ、四国中央市産後ケアで検索してください。

## 2週間健診

産後の赤ちゃんとお母さんをサポートするために「2週間健診」を行っています。産後2週間は、育児不安や母乳分泌に変化のある時期です。お母さんの気持ちを酌んで支援することは、お母さんの不安を軽減し、自信を高める効果があると考えられています。小児科医師からも、「1か月健診では、赤ちゃんの体重増加など問題があるケースもあり、2週間健診で、介入出来るタイミングは、赤ちゃんやお母さんにとって、良いことだと思います。」と話されています。



### 対象となる赤ちゃんとお母さん

- ・低出生体重児(2500g未満)や早産(37週未満)で生まれた赤ちゃんとお母さん
- ・入院中に母子同室が出来ないまま退院となった赤ちゃんとお母さん  
\*赤ちゃんが他の病院に転院になった場合はお母さんのみで受診
- ・赤ちゃんのお世話や授乳について相談したい、育児を手伝ってくれる方が少ないなど、子育てのサポートが必要な赤ちゃんとお母さん
- ・初産婦全例(2021年10月～)

#### 場所

2階病棟、母乳外来室 または、1階の助産師外来室

#### 日時

月・水・木曜日 13:00～15:00 30分程度

予約制：詳しくはホームページを参照してください。

## 当院で出産される方へ

私たち産婦人科スタッフは、妊娠期から継続的に関わることで、お母さんやご家族を支えていきたいと思っています。思いがけず切迫早産で入院をされた方、母体搬送、ベビー搬送になってしまった時にも、私たちは常に、お母さんやご家族の側に気持ちに寄り添い、退院後もずっと見守りサポートしていきたいと思っています。コロナ禍で、お母さんが我慢したり、不安を抱えたりせず、私たちに話してみてくださいね。どんな些細なことも、心に不安を抱えたままにしないで、お産を迎えられるように。

「出産」というご家族にとって、人生の大切なスタートの場に居られることに感謝しながら、安心安全な出産を目指していきます。





公立学校共済組合  
四国中央病院  
病院長 北川 哲也

### マスクの中で口角を上げて

ニュースで、ザンビアで医療支援に取り組んできた吉田修さんが、ロシアのウクライナ侵攻から逃れた避難民を支援するためにハンガリーに出向いたことを知った。何時も、その行動力とエネルギーには驚かされる。

彼は3年後輩だが、たくましく、明るく、自立した性格が気持ちよかった。JRで通勤していたが、半年ほどすると、いきなり「海外青年協力隊」に応募したので、アフリカのマラウイへ行ってきましたと言い出した。「えっ、マラウイって何? どこ?」、「通勤のJRに貼ってあった海外青年協力隊員募集のポスターに載っていたアフリカの子供達のキラキラした目がすてきで……」と言う。このような見方もあるのかと思ったが、おもしろく、私にはできない人生の選択だった。斯くして、平成元年に、医師隊員としてマラウイへ旅立った。

……その後の「徳島で国際協力を

考える会」等での活躍をご存知の方もいるかもしれない。わたしは、何時もその自由奔放さを羨ましく、彼の活動を見聞きするにつけ、「やってるな」と誇らしくみてきた。

さて、世界に通じる医療人へと歩むために意識すべきことは何だろう。この3月に、「国境なき医師団日本」会長に選任された中嶋優子さんが米国でフェローをしていた頃、縁あって、「世界に通じるドクターって?」と題して講演していただいた。

- ① 人との繋がりを大切にする、
- ② 一番弱い人のために働く、
- ③ 自身が楽しく、幸せに生きる、
- ④ 好きなことをしよう、慌てずとも「やりたいこと」はやがて見えてくる、そして、
- ⑤ 誰にも負けない専門性をもつ、と話された。

彼らの姿勢から学ぶことも多い。自分自身を思い浮かべてみても、医療人として、もつとああしておれば、こうしておれば良かったと思うことが多々ある…… マスクをきちんとするのがわたしたちの日常になっていくが、命の危機にある世界中の人びとのために、マスクの中で口角を上げて、ニツと笑って緊張をほぐし、まず、自分にできることから少しずつでも支援できればと思っている。

### Doctor's column ドクターズ コラム

注目の医療技術や健康づくりのヒントを紹介します

### ストレス関連疾病 (心身症)



わたしたち現代人は、さまざまなストレスにさらされて生活しています。わたしたちの脳や自律神経はこうしたストレスの影響を受けやすく、身体に不快な症状を引き起こすことがあります。そしてその症状がひどい場合は、病氣と診断されます。ストレスが原因、あるいはストレスが症状を悪化させる可能性のある病氣を『ストレス関連疾患(心身症)』と呼びます。現在、多くのストレス関連疾患が知られていますが、そのなかで日常診療において比較的多いものを以下にあげますと、過敏性腸症候群、胃・十二指腸潰瘍、過換気症候群、気管支喘息、狭心症、心筋梗塞、高血圧、片頭痛、筋収縮性頭痛、月経不順、慢性じんま疹、アトピー性皮膚炎、円形脱毛症、メニエール病などです。これらは、ストレスだけが原因というわけではありませんが、ストレスが発病や増悪に大きく関係しています。昔から『風邪は万

病のもと』という言葉がありますが、今では『ストレスは万病のもと』と言い換えてもよいでしょう。病氣とは言えないまでも、疲れやすい、だるい、あちこちが痛い、めまい、不眠、食欲低下などの症状が、ストレスで引き起こされることはよく経験されるのではないのでしょうか。

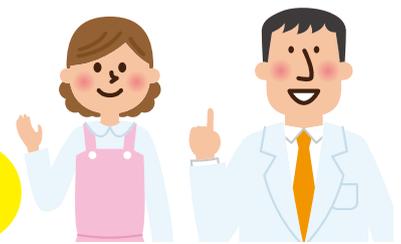
国の方針により、2015年(平成27年)から、労働者数50人以上の事業所ではストレスチェックを行うことが義務になりました。これは労働者のストレスの程度を把握して、メンタル不調を未然に防ぐことを目的にしたものです。ストレスチェックを判定するとき最も重視するポイントとは、心身の自覚症状(たとえば、疲れた、だるい、ふしぶしが痛い、食欲がない、眠れないなど)が多いかどうかです。つまり、すでにこのような症状が多く出ているときは、ストレスに押しつぶされそうになっている可能性があるのです。要注意と判断するわけです。生活からストレスをなくすことは難しいと思います。ストレスが関係している」と気づくことは、何らかの対策を講じる第一歩になるかもしれません。



健康管理センター長  
濱田 信一(はまだ しんいち)



VOL.9



当院で働く医師や看護師などのスタッフは総勢375人。  
皆さんがまだ知らない(知っている!?) “ステキな人たち”を紹介します。

### 推薦者 整形外科外来スタッフ一同

井上先生は、令和2年4月から当院整形外科に着任されました。関節専門として、変形性膝関節症、股関節症、半月板損傷、膝靭帯損傷等多くの患者さんを診察しています。外来での井上先生は、明るくて丁寧でフットワークが軽く、処置が始まると自ら率先して動いてくれるため、私たちスタッフもスムーズに介助につけることができ、とても助かっています。また、患者さんにも人気で「井上先生に診てもらいたい」と希望の患者さんが後を絶ちません。手術法は患者さんの年齢や症状、希望する活動などを考慮して決定するため、患者さんとのコミュニケーションがとても大事になります。そのためか、診察中に垣間見る笑顔や笑い声が患者さんの不安を軽減し、スタッフ間の親しみを生み、和やかな気持ちになります。手術の説明も分かりやすく、時には自分の足にマジックで書き込むといった、ちょっとお茶目な一面もあります。関節の痛みでお困りの方は、ぜひ井上先生の外来にお越しください。



### 整形外科外来 医師 井上 和正 さん



三豊総合病院から四国中央病院に赴任して参りました。主に、膝関節と股関節の手術治療を主体に診療をさせていただいています。お困りの関節の疼痛など患者様の症状をしっかりと伺い、最新の技術と最適な手術を含む治療をご提案させていただき、患者様のために有意義な関節外科となるよう努力してまいります。

### 整形外科 外来

整形外科外来には、幅広い年齢層の方が来院されています。処置や検査等、スムーズに行えるように不安を軽減し、安心して診察できるように努めています。

### 推薦者 認知症疾患医療センタースタッフ一同

認知症疾患医療センターには、認知症の受診相談以外にも、介護の困り事の相談や他院からの情報提供の依頼など、さまざまな相談が寄せられます。村尾さんは当センターで中心的に相談業務に携わっています。慌ただしいときでも、いつも穏やかに患者さんに対応してくれている、優しい笑顔の村尾さん。でも穏やかなだけではなく、伝えるべき事は伝え、不測の事態でも冷静にしっかり判断、対処してくれます。スタッフ一同、そんな村尾さんを頼りにしています。認知症や介護に関することは、ぜひ一度、村尾さんにご相談ください。



### 認知症疾患医療センター 精神保健福祉士

### 村尾 卓哉 さん



平成25年から当院で精神保健福祉士として勤務しています。主に認知症疾患医療センターの受診相談や患者さんの生活面の相談対応、認知機能検査等を行っています。相談業務では、長い期間関わることができる患者さんいれば、一度しか関われない患者さんもいます。その中でどれだけ信頼関係を築いていけるかが重要であり、すごく難しいことでも実感しています。患者さんやご家族との出会いを大切に、「相談してよかった」と言ってもらえるような相談員になりたいと思っています。院内で見かけたらお気軽にお声かけください。

### 認知症 疾患医療 センター

認知症の診断と治療、医療相談、研修会や情報発信、関係機関と連携した支援などを行っています。認知症の診断と治療については、早期診断から周辺症状の治療にわたって幅広く対応し、月・火・木・金曜日の午前中に外来診療をしています。患者さんやご家族が住み慣れた地域で安心して生活していただくためのお手伝いができるよう取り組んでいます。

# 日本不整脈心電学会の心電図検定 「一級」に3名が合格しました



心電図を読みたい!もっと心電図を好きになりたい!そんな仲間が集まり、毎日、勉強を積み重ね、日本不整脈心電学会の心電図検定を受験。この検定は4つの級からなり、1級は心電図の高度な判断力を有するもの(循環器専門医レベル)として位置づけられます。その超難関の1級に3人が合格しました。

その3人は、心電図にかかわる多くの知識を普及させ、医療の質の向上につなげるため、2022年4月より、毎週水曜日に「心電図講座」「心電図判読会」を開催し、心電図に興味とやる気のある多くのメディカルスタッフが楽しく心電図を学んでいます。



## Topics

### 「書道パフォーマンス甲子園」の 展示作品を入れ替えさせていただきました

玄関ホールに展示している「書道パフォーマンス甲子園」の作品を入れ替えさせていただきました。

素晴らしい作品ですので、ご来院の際にはぜひご覧ください。作品は今後も定期的に入れ替わる予定です。



広島県立神辺旭高等学校の作品

## アンケート & プレゼント

応募締切

2022年7月29日 まで  
(当日消印有効)

「広報誌しこく」では、  
よりよい誌面づくりのために、  
読者アンケートを募集しています。

ハガキに次の質問の回答をご記入いただき郵送ください。

- ① 住所 ② 氏名
- ③ 年齢 ④ 職業
- ⑤ 病気について知りたいこと
- ⑥ 四国中央病院について知りたいこと
- ⑦ その他(感想や取り上げてほしいこと)

### 【送り先】

〒799-0193  
愛媛県四国中央市川之江町2233番地  
四国中央病院経営企画課  
「広報誌しこく」読者アンケート係



アンケートにお答えいただいた方の中から、  
抽選の上、QUOカード(500円分)を5名さまにプ  
レゼントいたします。当選者発表は、賞品の発送をもって  
代えさせていただきます。

# 【医療法人社団 恵仁会 三島クリニック】

開業医の

当院は現在地にて昭和55年に開院し今年で43年目に入っております。その間、一般内科、外科、泌尿器科診療と、血液透析治療を中心にかかりつけ医として地域医療に邁進してまいりました。

耐震建築基準が当院開院翌年に変更されたこともあり、今年には診療棟を新築し医療機関名を三島クリニックと変更しました。平成27年からは副院長の溝渕剛士医師とともに消化器疾患以外にも腎臓、循環器診療と透析医療を更に充実していきたいと考えて頑張ってきました。

四国中央病院には日頃より検査・入院の必要な方や、救急（日曜、祭日、夜間）患者さんをお願いしていますが、いつも快く対応していただき本当に心強く、また深く感謝致しております。



後とも四国中央病院との連携を更に密にして地域医療の発展に貢献していきたいと思っていますのでよろしくお願い致します。

住所 〒799-0422 四国中央市中之庄町 116  
 JR伊予三島駅よりタクシーで約7分  
 松山自動車道三島川之江インター（または土居インター）より車で約10分

TEL 0896-24-3111



院長 溝渕正行 先生 副院長 溝渕剛士 先生

### 診療科

内科・腎臓内科・循環器内科・  
 胃腸内科・泌尿器科・外科・  
 皮膚科・麻酔科・  
 ペインクリニック内科・人工透析内科

### 診療時間

午前 9:00～12:30（木曜のみ 13:00 まで）  
 午後 14:00～18:00（土曜のみ 13:30～15:00）  
 日・祝日、木曜午後休診

	月	火	水	木	金	土
午前	●	●	●	●	●	●
午後	●	●	●	休	●	●

・受付は各終了時間の30分前まで

先生!!  
 お世話になっ  
 てます



# 【医療法人一早会 おおたに皮フ科】

平成9年4月、県立新居浜病院を辞し、伊予三島市中之庄町にて開業、早や20年以上が経過しました。日頃より四国中央病院の皆様には大変お世話になっています。

当院の診療内容は皮フ科全般で、アトピー、慢性湿疹、ニキビ、蕁麻疹、带状疱疹、円形脱毛症、いぼ、疥癬、水虫、トビヒなど多岐に亘ります。

今後も微力ながら地域医療に貢献して参りたいと思いますので、どうかよろしくお願ひします。



住所 〒799-0422 四国中央市中之庄町 400-1  
 JR伊予三島駅より徒歩15分

TEL 0896-23-2255



院長 大谷一馬 先生

診療科  
 皮膚科

### 診療時間

午前 9:00～12:30  
 午後 14:30～18:00  
 （土曜のみ 16:00 まで）  
 日・祝祭日休診

	月	火	水	木	金	土
午前	●	●	●	●	●	●
午後	●	●	休	●	●	●

## 新任医師・職員紹介

# はじめまして、よろしくお願ひします

2022(令和4)年度に新たに採用された6名を紹介します。①趣味 ②メッセージ



内科医長

香川 耕造  
(かがわ こうぞう)

- ① 音楽鑑賞
- ② 徳島大学病院呼吸器膠原病内科に入局しております。2010年に福岡大学を卒業しました。今回愛媛で住むのは初めてで楽しみです。少しでもお役に立てますよう頑張りますのでよろしくお願ひします。



産婦人科医員

前田 崇彰  
(まえだ たかあき)

- ① “食”
- ② 実は、この病院で生まれました。よろしくお願ひします。



内科医師  
(徳島大学寄附講座)

上田 浩之  
(うえだ ひろゆき)

- ① トランペット演奏
- ② 4月より水、木曜日の消化管内視鏡検査および水曜当直を担当することになりました。地域の皆様が安心してお過ごしいただけるよう、患者様に寄り添った診療を心がけたいと思っております。よろしくお願ひいたします。



麻酔科医師  
(徳島大学寄附講座)

本多 康人  
(ほんだ やすひと)

- ① 釣り
- ② よろしくお願ひします。



麻酔科医師  
(徳島大学寄附講座)

植村 勇太  
(うえむら ゆうた)

- ① 麻雀
- ② 術前～術後まで、安全な周術期医療を実施していくため、質の高い麻酔を提供できる様に尽力したいと思います。よろしくお願ひします。



医事課長

高橋 幹  
(たかはし もとぎ)

- ① 鉄道愛好家です(歴史鉄)
- ② 広島県福山市にあり中国中央病院から転勤して参りました。四国中央病院での勤務は3年ぶりになります。病院のご利用者様に少しでもお役に立てますよう努力いたします。宜しくお願ひいたします。

## 令和4年度は22名の職員が当院に入職し、 4月1日に新規採用者合同オリエンテーションを行いました。



カレンダー 7月18日(月) 海の日 8月11日(木) 山の日

次号(73号/秋)は9月1日(金)発行です。

病院理念… Smile(笑顔)、Speed(迅速)、Sincerity(誠意)を基調として、質の高い医療を提供し、地域と共に成長し、安心・安全を未来に繋ぐ。

公立学校共済組合  
**四国中央病院** 愛媛県指定がん診療連携推進病院  
Shikoku Central Hospital of the Mutual aid Association of Public School teachers

〒799-0193 愛媛県四国中央市川之江町 2233 番地 TEL (0896) 58-3515 FAX (0896) 58-3464  
ホームページ <http://www.shikoku-ctr-hsp.jp/>